

富士通 CSL 松山に新サポートセンター

製造業サポート BPO サービス提供

富士通コミュニケーションサービス（富士通 CSL、東京都品川区、南昌宏社長）は10日、国内9番目のサポートセンターとなる「松山一番町サポートセンター」（松山市）を開設し、大手製造業のサポート契約業務に関するBPOサービスの提供を開始した。

03年6月にニフティのインターネットサービス「アット・ニフティ」のサポート強化のために松山サポートセンターを開設し、現在運営中。今回開設されたサポートセンターは、松山市における2番目のセンターとなる。

同社は1994年の設立以来、コンタクトセンター、ITサポートのアウトソーシングサービスを提供してきた。近年、多くの企業が経営資源の集中、業務効率化、専門スキルの活用、コスト削減などを目的とし、BPOサービスを活用している。同社は、こうしたニーズの高まりに対応し、今回サポートセンターを開設。大手製造業への付加価値の高いBPOサービスを提供する。

電波新聞社様の許諾をいただいで記事を全文掲載しております。